

令和7年度 学校自己評価表

北九州リハビリテーション学院

1 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
学校における職業教育の特性は何か	4	3	2	1
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想・などが保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	3	2	1

(1) 課題

社会情勢の変化や業界のニーズを踏まえた教育目標および育成人材像のさらなる明確化が求められる。特に、高齢化社会への対応や指定規則改正を見据えた教育内容の整備が必要である。

(2) 今後の改善方策

教育課程編成委員会や関連企業、リハビリテーション分野における有識者との連携を継続し、社会経済および業界のニーズを把握するよう努める。また、関連企業や行政機関へのアンケート調査等を検討し、教育目標や育成人材像へ反映させる。

(3) 特記事項

教育理念・目標については学生便覧、ホームページ、パンフレット等を通じて周知している。また、指定規則改正への対応に向けた情報収集および検討を進めている。

2 学校運営

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	4	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

(1) 課 題

運営方針および事業計画については整備が進み改善しているが、今後はさらなる連携強化と、業務効率化に向けた継続的な見直しが必要である。

(2) 今後の改善方策

目的および運営方針に基づいた事業計画を継続的に確認し、運営の見直しを適宜行う。また、組織内の責任体制や意思決定システムの明確化を図るとともに、連携強化および業務効率化に向けた組織整備を進める。

(3) 特記事項

学校運営については、職員会議、運営会議、企画広報会議等を定期的に開催し、適切な運営に努めている。

3 教育活動

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	4	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	3	2	1
教員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

(1) 課 題

指定規則改正に伴うアドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの整合性を踏まえた見直しとカリキュラムマップ・カリキュラムツリーの整備が必要である。

(2) 今後の改善方策

3つのポリシーの改定を進めるとともに、教育課程編成委員会やカリキュラムマップ・カリキュラムツリー・シラバスにおいて系統的・段階的な教育課程の整備を進める。

(3) 特記事項

カリキュラムの体系化については準備が進み教育内容の改良を図っている。教育課程編成委員会の助言を踏まえ、ディプロマポリシー達成に向けた段階的教育や各学年各期における教育ラダーの整備について検討を進めている。

4 学修効果

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

(1) 課 題

卒業生の社会的な活躍や卒業後のキャリア形成について、継続的かつ体系的な情報収集体制の整備が必要である。

(2) 今後の改善方策

同窓会との連携を強化し、卒業生情報の共有化を進める。また、卒後研修等を通じて卒業後の状況把握および教育活動改善に活用する。

(3) 特記事項

令和 7 年度は両学科とも国家試験全員合格により資格取得率 100%を達成し、就職率については開校以来 100%を維持している。また、学習支援プログラムの実施により、退学率の低減や学習意欲向上にも一定の成果がみられた。

5 学生支援

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1

(1) 課 題

卒業生への再就職の相談や社会人ニーズの把握について、十分な体制整備には至っていない。

(2) 今後の改善方策

同窓会や卒業生との連携を強化し、卒後研修や研修会を開催し情報交換等を実施する。また、社会人のニーズを把握するため、卒業生を中心としたアンケート調査実施の準備を進めていく。

(3) 特記事項

学生支援については、学内での情報共有に加え、必要に応じて保護者とも連携を図っている。また、卒業生対象の研修会を開催し、卒後支援の充実に取り組んでいる。

6 教育環境

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

(1) 課 題

特になし。

(2) 今後の改善方策

教育環境の維持・向上を図るとともに、防災体制や安全管理について継続的に点検および改善を行う。

(3) 特記事項

教育評価認定審査を受審し、適切な教育環境整備に努めている。また、防災訓練や安全点検を計画的に実施している。また、防災マニュアルの作成に取り組む。

7 学生の受入募集

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
学生募集は適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

(1) 課 題

特になし。

(2) 今後の改善方策

特になし。

(3) 特記事項

学生負担軽減を目的として学納金の見直しを検討し改善を図った。また、令和 7 年度は学校長と教職員が同行して積極的に高校訪問を実施した。

8 財務

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

(1) 課 題

学生数減少の影響により、中長期的な財務基盤の安定化が課題となっている。また、予算・収支計画についても同様である。

(2) 今後の改善方策

入学者数の増加と退学・留年率の低減を図り学生数の確保に努めるとともに、経費削減を推進する。

(3) 特記事項

会計監査および財務情報公開については整備し適切に実施している。学習支援体制の充実を図り、その効果等について高校訪問や広報活動を通じて発信している。

9 法令等の遵守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

(1) 課 題

SNS 活用や生成 AI 機能の使用により、個人情報保護や情報リテラシー教育の充実が今後必要である。

(2) 今後の改善方策

個人情報の取扱いに関してや生成 AI 機能の使用に関する教育・規定整備を進める。

(3) 特記事項

養成校設置基準等の法令に基づき適切な学校運営を行っている。また、自己評価結果についてはホームページで公開している。

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

(1) 課題

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献において地域公開講座や教育訓練等のさらなる活性化が求められる。

(2) 今後の改善方策

地域自治体や外部機関との連携を強化し、地域公開講座、職業体験会、介護予防教室等の活動を継続・拡充する。

(3) 特記事項

地域の高齢者への介護予防活動や運動指導を実施している。また、学生のボランティア活動支援や地域行事への参加を整備し推進している。